

学校番号	1	学校名	沼津視覚特別支援学校	校長名	田淵 尚子
------	---	-----	------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	視覚障害に留意した「主体的に学び思考を深め表現する授業づくり」	・研修や授業公開が授業改善や授業力向上に繋がった教員100%	職 AB100% A	A	授業については、職員研修や一人一授業公開等を通して、視覚障害に留意した授業づくりについて学び合うことができ、授業力向上に繋がった。継続して研修に取り組みたい。
	視覚障害教育に必要な専門性の向上（ICT活用や情報保障を含む）	・自身の専門性の維持・向上ができた教職員90%	職 AB100% B	A	年間を通して視覚障害教育について校内の学習会等で学ぶことができ、専門性の維持・向上につながった。今後もICTを効果的に活用しながら個に応じた情報保障を適切に行える専門性を維持・向上していきたい。
イ	将来を見据え、各ステージで大切にしたいことを意識した指導	・学習会や進路指導課からの情報共有がキャリア指導の役に立ったと答える教員90%	職 AB100% A	A	キャリア指導に関わる具体的な内容について進路学習会や当事者の話を聞くことで、幼児児童生徒の各段階の指導に活かすことができた。本人・家庭が見通しを持って進路選択ができるよう、計画的に進路指導を進めたい。
	心身の健康の保持・増進	・幼児児童生徒が献立や食品、地域の産物に対する興味関心を広げることができたと答える教職員90%	職 A 97% 職 C 3% A	A	おすすめ献立決めや給食づくり隊の学習では、体験の中で食材や食べ物への関心が高まる様子が多くみられたが、一部地域の産物に対する興味関心の広がり不十分との意見も見られた。今後は、取組を継続し、心身の保持・増進に向けた学習を積み重ねたい。
ウ	超早期から成人までの切れ目のない教育相談の充実	・保健センター保健所への理解推進活動年間4回 ・共感的な雰囲気や安心と満足感をえられる教育相談	職 AB100% A	A	各機関へ訪問しての理解推進活動は、担当者へ視覚障害を理解してもらう良い機会となっている。相談者アンケートでも高評価を受け、安心感のある信頼される教育相談となっている。

様式第3号

	本校と視覚支援について東部地区における理解推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートを実施し、訪問により、理解が深まった80%</li> </ul>	職 AB100% A	A	東部地区市町等への訪問等視覚障害者への理解に繋がった。また高等部のマッサージ奉仕も視覚障害教育の理解推進に繋がっている。今後も継続して取り組んでいきたい。
	地域における人との関わりの拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>花壇作りを通して地域の方との関わりが持てた児童生徒80%</li> <li>地域やイベント等でのマッサージ奉仕年5回以上</li> </ul>	職 AB 94% 職 C 6% A	B	昨年度から引き続き小中学部での花壇作りや環境学習、高等部では近隣地域でのマッサージ奉仕などで地域の人との関わりが持てた。関わりのイベントを継続していく中で、今後もより発展させていきたい。
エ	一人一人が緊急時や発災時にどのように動くかわかる緊急体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>緊急時に自分で判断し、自信を持って避難行動、緊急時の対応が行えると思う教員80%</li> <li>地域と防災協力を行うことができたと感じる地域の人、職員80%</li> </ul>	職 AB100% B	B	マニュアルを確認しながら研修、訓練を行うことで、共通理解が図れているが、発災時の対応に自信があると言い切れない教員も多い。より実践的な訓練を繰り返し実施し、一人一人がどのように動くかわかる緊急体制の整備につなげていきたい。また、地域の方と行うマンホールトイレの設置訓練や防災教育連絡会議の実施も、担当者が変更していくため、継続して行い、連携協力ができるようにしていきたい。
	児童生徒が安全安心に活動でき、魅力的な環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校環境の不備を原因とした事故の発生0</li> <li>校内に自分の好きな場所があり、伝えることができる幼児児童生徒80%</li> </ul>	職 AB100% A	A	毎月の安全点検等から早めに補修、改善が行われ、大きな事故なく安全安心に活動ができた。また、校内の好きな場所は教室や遊び場と伝えてくる幼児児童生徒がほとんどで、学校が安心して活動できる魅力的な環境となっている。今後も、環境の改善を意識し、魅力的な学校に整備していきたい。
オ	専門性向上と授業準備ができ、魅力的な環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後が有効に活用できたと考える教員90%</li> </ul>	職 AB 97% 職 C 3% A	A	個別の指導計画検討のための短縮日課の設定やノー会議 Day の設定、会議の精選を行ったことで、専門性向上のための自己研修や授業準備時間等の確保ができ、学校環境の整備に繋がった。今後もより魅力的な学校環境になるよう時間の使い方を工夫していきたい。